

2012(平成24)年3月期 第3四半期決算補足資料

(2011年4月1日～2011年12月31日)

2012年2月3日発表

1. 2012.3期第3四半期実績

(百万円)

	'12.3期3Q 実績	'11.3期3Q 実績	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	21,020	21,106	-86	-0.4%
営業利益	4,118	3,067	+1,051	+34.3%
経常利益	4,137	3,018	+1,119	+37.1%
四半期純利益	2,728	2,146	+582	+27.1%
研究開発費	4,376	5,200	-824	-15.9%
研究開発費率	20.8%	24.6%	-3.8pt	-
営業利益率	19.6%	14.5%	+5.1pt	-
1株当たり四半期純利益(円)	48.03	37.78	+10.25	-

＜第3四半期実績と前年同期実績との差異要因＞

売上高: 国内アルツは、医療機関納入本数が増加し市場シェアも拡大したものの、当社売上は前年同期に薬価改定後の出荷が高水準であったことや、プラスチック容器新規投入時の出荷増の反動があり、微増。米国スパルツは、保険会社による償還厳格化の影響がほぼ一巡したことなどにより、現地販売および当社売上が増加。中国やヨーロッパ向けアルツの輸出も増加したが、オベガンの減少や円高の影響もあり、全体の売上高はほぼ前年同期並み。

営業利益: 高萩工場第4製剤棟の減価償却費等の原価減少などにより売上総利益が増加したことに加え、腰椎間板ヘルニア治療剤「SI-6603」について、米国治験費が発生した一方で、前年同期の国内治験費一括計上の様な特別要素がなかったこと等により研究開発費が減少したため、前年同期よりも増加。

四半期純利益: 円高幅の縮小により為替差損が減少したほか、特別損失として前年同期の資産除去債務会計基準適用に伴う過年度分費用がなくなったが、震災関連費用が発生。

2. 2012.3期第3四半期事業セグメント別売上高

(百万円)

	'12.3期3Q 実績	'11.3期3Q 実績	前年同期比		(参考)	
			増減	増減率	'11.3期実績	'12.3期予想
【医薬品】	16,904	16,747	+157	+0.9%	21,184	21,400
国内医薬品	14,181	14,269	-87	-0.6%	17,976	18,000
海外医薬品	2,723	2,478	+245	+9.9%	3,207	3,400
【機能化学品】	4,115	4,359	-243	-5.6%	5,933	5,600
試薬・診断薬	3,009	3,220	-211	-6.6%	4,240	3,900
医薬品原体	1,106	1,138	-32	-2.8%	1,692	1,700
合計	21,020	21,106	-86	-0.4%	27,117	27,000
(海外売上高)	4,683	4,379	+303	+6.9%	5,710	6,000

3. 通期業績予想と進捗率 (2011年11月8日に公表しました修正予想に変更ありません)

(百万円)

	'12.3期 予想	'11.3期 実績	前期比		'12.3期3Q 実績	進捗率
			増減	増減率		
売上高	27,000	27,117	-117	-0.4%	21,020	77.9%
営業利益	4,700	3,533	+1,166	+33.0%	4,118	87.6%
経常利益	4,800	4,159	+640	+15.4%	4,137	86.2%
当期純利益	3,200	2,451	+748	+30.5%	2,728	85.3%
研究開発費	5,700	6,723	-1,023	-15.2%	4,376	76.8%
研究開発費対売上比率	21.1%	24.8%	-3.7pt	-	20.8%	-
営業利益率	17.4%	13.0%	+4.4pt	-	19.6%	-
1株当たり当期純利益(円)	56.33	43.16	+13.17	-	48.03	-

以上